大館市政だより

第五十七号
（毎月一回発行）
大館市役所
発行所　秋田県大館市
編集兼発行人　竹内福哉

盛大に復興祭

八月九日から十日間

市では八月九日から十八日までの十日間に亘つて、盛大な復興祭絵巻をくりひろげることになり商工課を中心に目下準備に大わらわです。

この祭典は一つ火災復興を祝うだけでなく、産業祭や市制施行七周年を記念して行おうというものです。

過去にさかのぼつて、今日これを行うことの経緯といつたものをみると、話しはあまり結構なことでないので、少くとも自慢にもなりませんが大館が市制を施行した二十六年には大水害、続いて二十八年四月には片町官庁街の大火漸く復興して三十年三月周辺一町五村を合併新市を形成し愈々建設計画の遂行など活気づいた矢先、五月に至つて駅前一帯を焼尽する大火、これが復興を待たずして、さらに三十一年八月大町中心市街七万六千坪、一千三百もの建物が灰燼する大火と四年の間に三度も相次いだ火災のため市制施行の記念祭はもとより産業祭なども行うに至らず、この七周年というもの災害の復旧、火災の復興と眼まぐるしい日日を重ねて今日を迎えるに至りました。

幸い皆様の血のにじむような努力と、全国から寄せられた指導と援助によつて、復興にピリオドを打つ日も間近かく、その跡には都市計画がすすみ、防火建築群が整然と建ち並び、もはや昔を偲ぶべくもない近代的市街が誕生しようとしています。

〝わざわいを転じて福〟焼土に立つたときの市長の復興への決意は罹災された四千二百余人はもとより、五万市民をして大火のない住みよい大館を創るための大きな力こぶとなり契機となつたといえます。

そこで大館市の歴史に消えることのない畢生の大業たる事業の完成を期して、その復興を祝うとともに、永らくうずもれていた大館市の物産や観光資源を広く内外に紹介するなど、多彩な、そして総合的な記念祭をとり行い不景気風も厄神もフツ飛ばして、新気一転、力強い発展への巨歩を踏出すことになつたもの。

会場には城南小、桂城小、市営球場が当てられるほか、全市を開放して行い、展示会各種の競技大会、芸能大会など祭典行事の準備は着々すすめられています。主な祭典行事の内容は次の通とおり

◆展示会関係◆

①工芸品展示会
②工芸参考品展示会
③大館市物産見本市
④観光と土産品展示会
⑤地下資源展示会
⑥電気と生活展
⑦森林と生活展
⑧農業展
⑨酪農振興展
⑩農機具展
⑪水道と生活展
⑫復興大館市の展望
⑬モデル住宅展
⑭住宅と家具展
⑮建築資料展
⑯児童作品工夫展
⑰全国統計図表展

◆競技会関係◆

①秋田県桶樽製作競技会
②秋田県建具製作競技会
③美容コンクール

◆体育関係◆

①第四回リレーカーニバル
②秋田、青森、岩手選抜高校野球大会
③大館市、鹿角対抗庭球大会
④第三回大館、北鹿総合バレーボール大会
⑤第三回県北中学校対抗卓球大会
⑤県北中学校選抜バスケット大会
⑦県北二市三郡一般、高校、中学校剣道大会
⑧北鹿三郡柔道大会

◆芸能関係その他◆

①大館、十和田、八幡平、三温泉紹介
②市民盆踊大会
③フオークダンスの夕
④民謡大会
⑤郷土芸術鑑賞会
⑥市内中小学校学芸会
⑦秋田犬展覧会
⑧花火大会

◆諸会合関係◆

①秋田県市長会
②秋田県八市財務協議会
③全県森林組合大会
④八市議長会
⑤八市選挙管理委連合会総会
⑥全県女子青年幹部研究会
⑦北海道東北ブロツク消防大会
⑧県内商工会議所会議

猫の手も借りたい忙しい農家のこの頃三早加熱育苗とかビニール畑苗代とか、苗代半作といわれるごとく、熱の入れ方もひとしお、流石に米作りのスタートも早い。

八万石の米所大館の田植は今たけなわ早苗持つ手にも植える一株、一株にも、秋豊作の希いを秘めて心こまやか。

冷害型といわれる気象予想に心配も少くないが、〝豊作は三年つづかず〟の定説を軽くノツクアウトした今日の技術で八万石は平年作としたいもの。

（写真は五月二十日池内田圃での田植風景）

写真説明 ①大町から田町方面左側 ②大町から鍛治町方面右側③大町（鍛治町に向つて）左側、完成なつた防火建築群。

總選挙終る

投票率前回より減る

五月二十二日に執行された二大政党下初の衆議院議員総選挙と最高裁判所裁判官国民審査の大館市における投票及び開票の結果は次のとおりです

◆投票状況

▽選挙当日の有権者数
男一五、〇六二人、女一六七一九人、計三一、七八一

▽投票者と投票率
男一二、二六三人（八一・四二％）女一一、七八九人（七〇・五一％）計二四、〇五二人（七五・六八％）

投票率は前回（三〇年二月二十七日）の八二・五〇％より六・八二％低く男女別では、男四・一七％、女八・一〇％のようにそれぞれ低くなつています。

◆開票結果

開票は二十三日午前七時から城南屋内体操場で行いました。

▽投票総数二四、〇三〇票
▽有効投票二三、八〇四票
▽候補者別得票数

候補者	得票数
石田博英（当）	一二、七九〇
鈴木一（当）	五、三一一
石山権作（当）	三、三六〇
須磨弥吉郎（次）	七一一
柳谷清三郎（当）	六六二
宮越庄太郎	六〇九
三浦雷太郎	二七七
渋谷倉蔵	八四

最高裁判所裁判官国民審査

▽投票者数と投票率
男一二、二五〇人（八一・三三％）女一一、七七九人（七〇・四五％）計二四、〇二九人（七五・六一％）

▽投票総数二三、九九二票
▽有効投票二一、〇〇二票
▽審査された裁判官別、（）内は罷免を可とするもの
◇高橋潔一八二八二（二七二〇）◇垂水克己一八三二八（二六七七）◇河村大助一八二四八（二七五四）◇奥野健一一八〇五一（二九五一）◇下飯坂潤夫一八二八二（二七二〇）

行政協力員決まる

大館市規則第十号として昨年七月一日公布施行されました「大館市行政協力員設置規則」の定めるところに従つて本年四月皆様から区域内住民の総意を反映した方法によつて規則制定後初の行政協力員の推せんを行つて頂きましたが、このほど別表協力員名簿の如く百五十一名の委嘱を終えました（但し町内事情等により推せんのなかつた八町内については市長の選任委嘱による）新任の協力員の方々は今後二ケ年間その職務を担当することになつています。

行政協力員設置の目的は申すまでもなく市の行政を市民の皆様に適確に浸透し、市政を正しく理解して頂くことによつて行政能率の向上を図るとともに、皆様の市政に対する建設的な御意見を反映したよりよい自治行政の運営によつて明るく楽しい共同生活を営むため、市役所と市民との間に立つてこれがとりなしをして頂こうというものでありますから協力員の仕事については宜しく御協力下さい。

お詫び

「市勢」欄は本号スペースの関係で休載しました。悪しからず御了承下さい。

町内名	協力員氏名
大館地区五十名	
桂城	工藤淳豊
金坂	筒井宇助
赤館	根本勇夫
部垂町	伊藤貞蔵
相染町	仲谷五郎
桜町	桑名健道
谷地町	浜松富蔵
一心院	佐藤清次
向町	豊沢有三
長倉町	松原フミ
愛宕町	田堰チヤ
古川町	男沢丈夫
大下町	石田清太郎
鉄砲場	大森銀治
通町	武田金吉
独鈷町	山内笑治
川原町	難波助太郎
五丁目	簗館米三郎
四丁目	成田良助
三丁目	伊藤政雄
二丁目	木村隆一
一丁目一区	小坂喜代松
〃二区	木村欣一
〃三区	谷地田吉男
〃四区	小坂英隆
〃五区	佐々木正治
清水町	富樫正一
中道	川連金一郎
栄町	田畑文治
田町	後藤長之助
末広町	斎藤金次郎
大町	花岡嘉男
寺町	桑山孝善
弁天町	工藤力蔵
大正町	鈴木栄治
御坂	斎藤稔
新富町	和田為孝
常盤木	椿田利喜司
昭和町	山田吉三郎
神明町	千葉哲雄
南神明町	小松茂太郎
東新	小笠原彦三郎
新地	越前哲郎
南町	畠山政治
田代町	横井信吉
馬喰町	木村貞蔵
中町	栗盛良治
新町	岩沢米四郎
柄沢	成田幸蔵
東台	菅原忠助
釈迦内地区十八名	
小釈迦内	猪又栄助
板子石	菅原一郎
日景町	日景岩蔵
向羽立	伊藤胤雄
シシガ森一区	田中四方蔵
〃二区	猪又次郎
大通	木村栄蔵
中通	木村弘一
上通	伊藤悦二
山神台	伊藤清治
長面	佐々木半次郎
長面袋	上村清利
商人留	貝森喜一
松峰	畠山一志
松木一区	菅原三郎兵ェ
〃二区	佐藤喜作
沼館一区	桜庭貞夫
〃二区	田山由太郎
長木地区二十二名	
上岱野	藤木吉五郎
下岱野一	田中利市郎
〃二区	石田源次郎
〃三区	石田助太郎
〃四区	田中福次郎
東二ツ屋	田中徳治
宮袋	伊多波祥一
大茂内	中村卯之松
小茂内	高橋三次郎
芦田子	田村金四郎
養ノ神	近藤弥宗治
小雪沢	川田久明
大明神	田畑一男
新沢	岩根正一
赤沢	佐々木茂見
黒沢	斎藤千代松
茂内屋敷	畠山新五郎
水沢	浪岡林三
篭谷	岩間善作
石渕	石田武雄
二ツ屋	石川忠
イモガ岱	浪岡忠之助
下川沿地区十八名	
片山一区	齊藤伊右ェ門
〃二区	斎藤一男
〃三区	糸田幸雄
餅田一区	村尾五六
〃二区	高清水直
山田渡	虻川竹蔵
赤石沢	佐々木ヨネ
立花一区	鎌田多兵衛
〃二区	中嶋寿一
川口一区	富樫金太郎
〃二区	小林喜代治
〃三区	斎藤寿美
川口四区	斎藤政蔵
〃五区	伊藤良助
〃六区	片岡久一
横岩	佐藤俊次
大道下	工藤三郎
鳴滝	佐藤精二
上川沿地区九名	
中山	佐々木茂太郎
餅釣	関口庄右ェ門
池内	戸田政蔵
小館花	伊藤幸二郎
舟場	釜谷三八郎
根下戸	田中清太郎
金谷	菅原和吉
羽立	菅原松次
沢山	藤原孝治
二井田地区十一名	
下村	柳谷三郎
町	嘉成貞利
館	仲沢佐吉
小坪川原	小林与吉
高村中台	田幡兵一
四羽出	小畑千代三郎
下川原	秦清志
本宮	小沢鉄之助
前田	芳賀久助
杉沢	武田桂助
大子内	斎藤七郎右ェ門
真中地区八名	
櫃崎	虻川正吉
高戸谷	虻川耕一
赤石	平泉喜三郎
板沢	石戸谷錦吉
小袴	佐藤稔
大披	武田勝治
出川	佐藤正隆
下川原	工藤勇五郎
十二所地区十五名	
大滝一区	美濃屋明
〃二区	奈良道夫
平内	近藤玉吉
下町	畠山忠一
中町	千葉末吉
上町	高橋倉蔵
上新町	加賀谷定治
別所	黒田長治
沢尻	斎藤常世
葛原	佐藤誠治
猿間	奈良一郎
軽井沢	鈴木長治
曲田	畠山浩造
道目木	奈良仁吉郎
濁山	佐々木定蔵